

■ウインドウズ オブ Wind(風の窓)

IRENA の Amin 事務局長の来日

日本風力発電協会 国際部会長 上田悦紀

三菱重工業株式会社

2010年2月に国際再生可能エネルギー機関（IRENA：International Renewable Energy Agency）の Adnan Amin 事務局長（来日時点は代行でしたが、4月3日の選挙当選で正式就任）が外務省の招待で来日されました。

まず2月8日には、三菱重工の横浜製作所の本牧風車工場を訪問され、大型風車のナセルの組立工程をつぶさに見学されました（図1）。

2月20日は、外務省主催の再生可能エネルギーワークショップ「再生可能エネルギーの利用の促進に向けて：国際再生可能エネルギー機関への期待」（東京お台場の東京国際交流館）に主賓として参加されました（図2）。ワークショップには、中国、タイ、トンガからも政府関係者や専門家が出席しており、アジア各国にIRENAのプレゼンスを示しました。

【ワークショップのプログラム】

- 14:00 開会及び基調講演：外務省
- 14:20 IRENA、設立経緯とその役割
- 15:00 我が国、各国の再生可能エネルギーへの取組
- 16:15 再生可能エネルギーの未来と IRENA（日本の新エネ業界とのパネル討論）
- 17:30 閉会。引き続きレセプション

パネル討論では、高山 JWPA 副代表理事（三菱重工）が、日本の風力発電の現状と展望を発表しました（図3）。

石油価格が再び高騰し、原子力発電に代わって再生可能エネルギーの存在感が増す中、IRENAは有力な国際機関に成長してゆきます。そのTopに知日派になってもらう機会を作った今回の外務省の動きは、まさに Good Job だったと思います。

（JWEA 協会誌「風力エネルギー」2011 第1号 Vol. 35 通巻 97 号より再録）



図1 風車工場を見学する Amin 事務局長

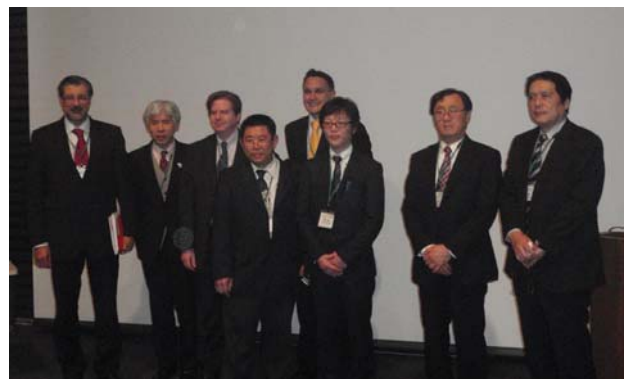


図2 再生可能エネルギーワークショップ

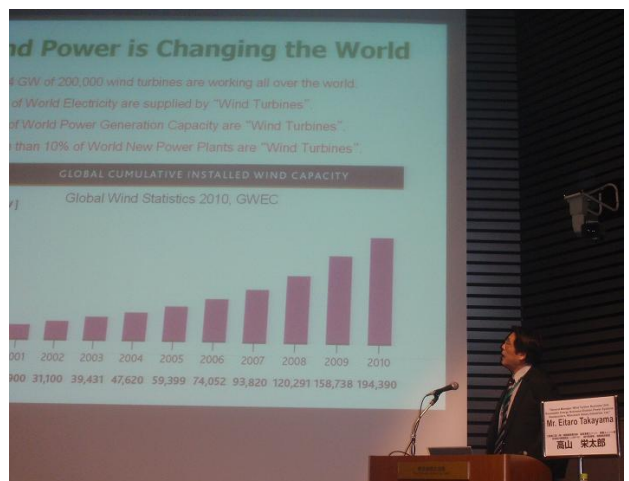


図3 パネル討論での日本の風力発電の発表